

委員会報告

「隠岐潮風ファーム」を視察

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は10月12日に、島根県海士町にある「隠岐潮風ファーム」の視察を行いました。これは、建設業である「飯古建設」が、公共事業が減少する中で、異業種である畜産に取り組み成果を上げていく会社です。

経営の内容

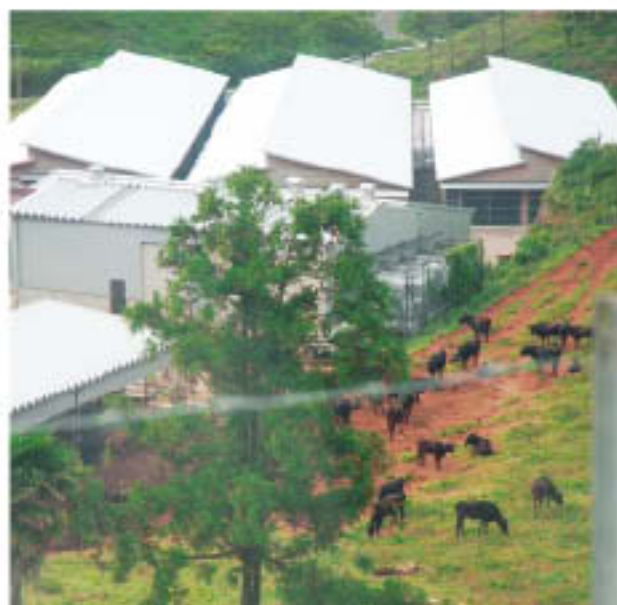
離島のハンディ克服のため、市場性の高い若齢雌牛の肥育を行い、市場価格の高い東京市場に出荷。

隠岐牛のブランド化

「島生まれ・島育ち・隠岐牛」として売り出し「島根和牛」から「隠岐牛」のブランドとして売り出す事に成功。

会社のこだわり

- ・粗飼料は地元産のわらを使用
- ・隠岐生まれ・隠岐育ちの雌牛を肥育。



隠岐潮風ファーム

- ・隠岐で生まれる雌牛、500頭のうち130頭を購入、「隠岐全体の牛が増えないと、会社の牛も増えない。」と、隠岐全体の畜産振興に貢献。

売り上げ

- 18年度 1億円
 - 19年度 1億3千万円
- 毎月10頭の出荷体制を

確立

見習う点

- ・ハンディを逆手にとる発想⇒東京市場への出荷
- ・地域を支える意識
- ・1ターンの増加⇒受け入れ態勢の充実
- ・異業種からの出資⇒資金力・人材・発想の転換など。

品川区立小中一貫校「伊藤学園」を視察

福祉文教常任委員会

福祉文教常任委員会は、10月23日、東京都の伊藤学園を訪問した。

小学校1年生から中学3年生までの886名が、同じ校舎で学習している。

説明や校舎見学で、特に印象に残ったこと。

- ①品川区立38の小学校すべて、教科担任制を実施。
- ②校長の予算ヒヤリングを実施。経営方針、教育活動の成果などを聞き、校長裁量のプラス、α予算を講じている。
- ③外部評価者制度を導入し、より客観性のある学校評価に努めている。
- ④学校の良い所も悪い所も、保護者・地域に徹底した情報開示を実施。



小中一貫校「伊藤学園」

- ⑤品川区立全小・中学校（58校）で、平成18年度から小中一貫教育に取り組んでいる。

- ⑥同一校舎内で、小学生と中学生が一緒に学習するため、中学生による非行がほとんどない。

総務企画常任委員会は定住団地の開発販売と空き家バンク事業、新規就農者支援、観光開発事業について大分県豊後高田市を視察した。

①豊後高田市の「三友団地」、「フラインヒル北田団地」、「御所園分譲団地」の計3カ所を視

察。販売実績は、条件のよい1団地は20〜30歳代の若者を中心にすでに完売。あとの2団地は交通条件があまりよくなく、2〜9カ所が残っている。

定住支援策は、ホームページを開設し「住む情報」、「農業情報」、「就

労情報」、「お役立ち情報」、「移住者の体験談」などを提供している。

②空き家の有効活用は、空き家バンク登録申込書により、情報発信をしている。現在利用者は34組85名。市は仲介のみ。

③農業を始めるために、里親農家研修があり、栽培方法や経営管理について農家で実地に学ぶ制度である。

◎研修期間6カ月以上、研修費は無料
◎食費や交通費などは自己負担

④観光開発事業の「昭和の町」づくりは昭和30年代の賑わいを再びよみがえらせようと、平成13年に着手した町づくりです。各店は、一店一宝として「昭和の品」をかざり平日でも、多くの観光客であふれていました。成功例のひとつと思います。



豊後高田市「昭和の町」

臨時議会 (12月7日)

職員給与の改定
(人事院勧告による)

- ・初任給を中心に若年層に限定した改定(中高齢層は据置き)
初任給 一般行政職
大卒 172,200円(170,200円)
高卒 140,100円(138,400円)
()は改定前

- ・扶養手当
6,000円を6,500円に引き上げ
- ・期末、勤勉手当
4.45カ月を4.5カ月分に引き上げ

引き上げに伴う財源
536万円

採択された意見書

議員提案の2案件の意見書は、ともに全会一致で可決しました。

原爆症認定制度に係る問題の

早期解決を求める意見書

提案者 松本彰 夫議員
賛成者 赤木健二議員

道路特定財源諸税における
暫定税率等の延長に関する意見書

提案者 小川清 治議員
賛成者 松本彰 夫議員